

中小型株 物色広がる

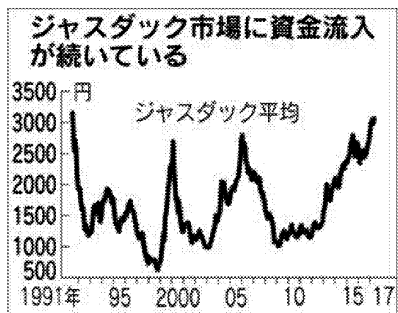
新興市場に資金が流入している。9日の東京市場で日経ジャスダック平均株価が1991年6月以来、約25年11ヵ月ぶりの高値を更新した。3月に付けた直近高値を上回った。個人投資家を中心に内需関連の業績好調な中小型株を物色する流れが広がった。株価が上昇した大型株を売却した資金で中小型株を買う動きも目立った。

個人の投資余力回復

この日のジャスダック平均は前日比14円16銭(0.46%)、高の3068円76銭と8日続伸し、9年6ヵ月ぶりの高値をつけた。4月中旬以降はほぼ一本調子で上昇が続いている。けん引役は好業績を発表した銘柄だ。前日に業績見通しを上方修正したシステム導入コンサルスのノムラシテムコーポレーション、空調工事の大成温調が年初

来高値を更新した。今期の増益予想を発表した芝浦電子は一時12%高となり、9年6ヵ月ぶりの高値をつけた。特に9日に買われたの株式公開(IPO)銘柄も活況だ。過去1年に上場した銘柄の値動きを示す「QUICK IPO」は20万5955と、3月の高値(20万6797)に迫る。

ジャスダック市場の年初来高値更新銘柄 (単位%、▲はマイナス)		
	前日比	昨年末比
ニューテック	56.9	167.2
シーシーエス	22.3	38.9
ボラテクノ	14.7	22.1
アイ・テック	14.5	40.4
大成温調	11.8	29.7
ノムラシテム	11.1	56.7
芝浦電子	9.8	24.6
クリエ	7.5	39.5
ムトー精工	7.1	49.4
ラクオリア	7.0	57.3
内外テック	5.9	151.6
アバント	5.6	23.9
タツミ	4.2	13.5
ジャスダック平均	0.5	12.0
日経平均	▲0.3	3.8



マザーズ市場でもネット通販の物流受託を手掛けるフェイスが一時10%高となった。機関投資家マネーの流入も中小株株には追い風だ。2日には独立系のレオス・キャピタルワークスが、3月上場したほぼ日株を5%強取得したと公表。8日に制限値幅の上限(ストップ高水準)まで上昇し、9日も一時8%高と上場来高値を更新した。レオスの八尾尚志シア・アナリストは「独自の事業モデルを持ち、安定した利益成長が期待できる中小型株に投資している」と話す。

高値圏にあるジャスダック市場だが過熱感を指摘する声は少ない。ジャスダック上場銘柄のPERは当面続く」と話す。